

臨時災害放送局は、地震や津波などにより大きな災害が発生した時に、被害の様子や安否情報、避難所情報、生活用品・食料品の配布などの情報を放送するために市町村等が臨時に開設するFM放送局です。

東日本大震災、熊本地震及び中国地方の豪雨災害等の際においても、被災者への情報提供に役立ちました。通常のFM放送の周波数帯で放送しますので、FM放送が受信できるラジオがあれば、誰でも聞くことができます。

信越総合通信局では、可搬型のFM放送装置を常備し、災害時には地方公共団体等が開設する臨時災害放送局の設備として貸出し、また、平常時には地方公共団体等が行う防災訓練や電波の伝搬試験等のために実験試験局として運用して、臨時災害放送局による地域住民への迅速な情報提供を図ります。

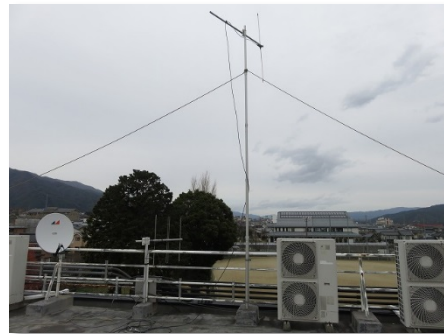
諏訪地区における臨時災害放送局の試験運用の概要について

- ・ 大規模災害が発生した想定で、諏訪広域連合を代表して諏訪市の要請により臨時災害放送局用設備を貸し出す手順の確認も実施します。
- ・ 諏訪市役所庁舎の会議室に送信機を設置し、屋上にアンテナを設置します。
- ・ 諏訪市役所屋上からFM放送の電波を発射し、ポータブルラジオやカーラジオを用いて、諏訪広域連合を構成する周辺地方公共団体の公共施設等において受信状況調査を行います。
- ・ 受信状況の結果を後日地図上にまとめ、災害発生時の情報伝達計画の基礎資料として活用します。

臨時災害放送局の設備



FM送信機



送信アンテナ



FMラジオ